

令和5年度 いのちの授業 事例集（高校）【総合的な探究の時間】

掲載数

28

管轄	学年	教科等	テーマ	内容	参考事項（講師・教材等）
1 神奈川県	高1	総合的な探究の時間	薬物乱用防止講座	横浜税関の方を講師として迎え、税関の業務内容等の講義を受けたり、麻薬探知犬によるデモンストレーションを見たりすることにより、薬物乱用防止について学んだ。薬物乱用は限られた人や特別な場合の問題ではなく、誰の身近にも起こり得る問題であること、乱用される薬物は、使用することはもちろん、所持することも禁止されていることを理解させることができた。	講師は、横浜税関税関広報広聴室の職員
2 神奈川県	高2	総合的な探究の時間	性感染症・デートDV防止	オンラインによる実施であったが、性感染症やデートDVについて考える良い機会となった。性感染症については、原因をよく理解し、感染しないために、どのような行動をすべきかを学ぶことができた。デートDVについては、自分と相手を大切にし、尊重しあえる関係の作り方を学び、暴力の責任はどんな場合も加害者にあることを理解させることができた。	講師は、昭和大学保健医療学部看護学科助産学専攻学科の教授
3 神奈川県	高1	総合的な探究の時間	命の大切さを学ぶ	総合的な探究の時間の中で「暮らしやすい社会について考える」一環として、「妊娠・出産・性教育」について学び、生命の奇跡および自分の命と一人ひとりの命の大切さについて理解した。	
4 神奈川県	高2	総合的な探究の時間	沖縄の過去と現在が抱える問題	NHKと連携して、沖縄のフリースクールに通う「菜の花（なのか）」という生徒と同世代の女性を主人公に、彼女が戦争体験者から過去に沖縄戦で何が起こったのかを学びながら、いま現在、その影響はどのように残っているのかを考えていくビデオ作品を全クラスで視聴した。 その上で、実際に修学旅行で沖縄に行き、ひめゆり資料館やアブチラガマを訪れ、平和といのちの尊さを体感した。修学旅行先の地域探究をテーマにした活動において、いまの自分たちの暮らしや生活がけっして“あたりまえ”ではないということ、安全に生活できることのありがたさを再認識することができた。	NHK番組放送センター 『OTV報道スペシャル菜の花の沖縄日記』
5 神奈川県	高1	総合的な探究の時間	世界の入り口に立とう！	JICA横浜と連携し、「世界の入り口に立とう！」と題して8名の海外研修員の方々に来校していただき、国際理解教育を実施した。気候、農業、資源・エネルギー、人口・食料、言語・紛争などについて学ぶなかで、特に、紛争地帯の体験者から、今日ある命が明日あるとは限らないことを知らされ、改めて私たちが知っている“あたりまえの日常”が“あたりまえではない”ことを痛感し、いのちの尊さについて、考えさせられた。	JICA横浜 海外研究員

6	神奈川県	高3	総合的な探究の時間	相互理解を深める教育活動 みんなが安心して過ごせる学校にするためにはどういうことが必要か	来年度からの本校のミッションである、インクルーシブ教育実践推進校において相互理解を深めるため、相手の立場に立って考えることができるようにした。 内容 ○本校の学校目標を交えながら共生社会について講演会を行った。 ○講演内容を基にして共生社会について考える時間を設け生徒同士で意見交換させた。	本校インクルーシブ担当職員
7	神奈川県	高1	総合的な探究の時間	「いのちの講話」	・教員の子育て体験を通して、命をつなぐことの大切さを伝えた。 ・映像「アース」の視聴を通して、生物の生き様を実感し、生態系を守っていくことの大切さを学んだ。	HRごとにローテーションを組みDVD等を利用して学習した。
8	神奈川県	高1	総合的な探究の時間	交通安全教室	自転車の安全な乗り方を中心に、乗り方によっては被害者にも加害者にもなってしまう可能性があることを知り、自分や歩行者の命に関わる状況が生じることへの洞察力や想像力を持つことの大切さを学んだ。	講師：JAFより派遣してもらう。
9	神奈川県	高1	総合的な探究の時間	災害図上訓練(DIG研修)	本校から最寄り駅である戸塚駅までの通学路に、災害時に危険な箇所を白地図にマークさせた。また、土砂災害危険区域や河川、避難所など災害時に有用な箇所を地図を見て色分けさせた。これらの情報から、災害時に安全に移動できる経路を確認し、身を守るための地理的情報を理解する活動を行った。	白地図 防災マップ マジックペン等
10	神奈川県	高複合	総合的な探究の時間	SNS依存防止講演会	携帯電話の正しい使い方を学ぶと同時に、生徒の身近にあるSNSの正しい使い方、使う際に注意すべきことを学んだ。携帯電話を使いすぎたり、SNSの使い方を間違えると健康や命にも関わることを理解させ、これからのSNSとの関わり方を考えさせた。	エンジェルアイズ代表
11	神奈川県	高複合	総合的な探究の時間	交通安全	車社会における当事者としての自覚と責任を高めるとともに、自転車やバイクの乗り方に関して、交通ルールとマナーを学んだ。DVD視聴及び交通安全講話	横須賀警察署署員
12	神奈川県	高複合	総合的な探究の時間	保健講演会	生と性の話から、生徒一人ひとりが自分自身の「からだと心」を大切に考え、他の人に対しても思いやりと責任を持った行動をできるようになることをめざした。	おもしろ健康教育研究所 ・神奈川県立保健福祉大学准教授 ・静岡県立大学助教
13	神奈川県	高1	総合的な探究の時間	人権教育「まとう」鑑賞	人権侵害問題について、実際に起こった事件が契機となって作成された映像作品の意図を説明し、鑑賞した。日本国内で生活をする日本国外にルーツを持つ人たちとの共生について考え、文化や習慣の違いを認め、お互いが幸せに生きていくためにはどうしたら良いかを考える切っ掛けを持たせるとともに、身近にある問題であることを再認識し、理解を深めることができた。	教材： 短編映画「まとう」

14	神奈川県	高1	総合的な探究の時間	防災教育「DIG訓練」	東日本大震災や熊本地震などの地震災害と共に、近年増えつつある大雨、洪水に関する災害について考え、川に挟まれた平塚市の防災についてグループごとに別れ、地図から読み取れた気づきを共有し、意見交換をして、避難ルートや災害時に役に立つ施設について理解を深めた。また、生徒自身が生活する地区でも同様のことを行い、常に防災の意識を忘れないための意識を育てる機会となった。	教材： 平塚市内地図・平塚市ハザードマップ等
15	神奈川県	高1	総合的な探究の時間	高齢者介護・看護	今は高校生として日常を不自由なく生活できる生徒が多いが、いずれ介護や看護を受けることになることが想定される。自身の心身の健康を保とうとする意識をはぐくみ、自身の命と健康がかけがえのないものであると同時に、高齢者に対する敬愛の精神を養うことを目的として、高齢者介護について理解を深めるワークショップを実施した。生徒たちは、講義やロールプレイを熱心に見いていた。	平塚市介護保健課、株式会社ツクイ
16	神奈川県	高1	総合的な探究の時間	がん教育「共生」	1学期に保健体育科の授業で、教科書を使ってがんについての基礎知識を学習した。その学習を踏まえ、総合的な探究の時間の夏休み課題として、興味がある職業と健康問題についての調べ学習をしてクラス内で共有した。がん経験者による講話の事前活動として、グループを作ってがん経験者に対する質問事項を4つ決めさせた。9月14日には、クラスごとに各グループの代表者からがん経験者にインタビュー形式で質問をしていきながら、さまざまな話を聞くことができた。その質問の答えを聞きながら、「がんと共に生きる」ことについて考え、深い学びとなった。	神奈川県がん患者団体連合
17	神奈川県	高2	総合的な探究の時間	「平和」の意味を考える	修学旅行で広島平和記念資料館を訪れるにあたって、事前学習として、原爆の脅威や原爆投下後の状況などをグループを中心として書籍やインターネットを活用して研究を行った。その研究の中から出された「戦争と平和」への思いなどを発表し合うとともに、学年全体でもその内容を共有した。	講師は2学年総合的な探究の時間担当者及び2学年担任団。
18	神奈川県	高1	総合的な探究の時間	防災教育「DIG研修」	DIG研修の中で、実際にハザードマップを用いて災害発生時の状況を想定しながら、避難経路の作成や生活に必要な物資の確保などをどのように行うのかを深く考えることができた。また、実際に災害が起こったときに決して一人では生き抜くことはできず、周囲と協力することの大切さを多くの生徒が感じていた。 家族との避難集合場所や連絡方法なども考える時間にもなり、家庭生活のなかでも活かせる内容となった。	講師：地理担当教諭 ハザードマップ、サインペン、付箋
19	神奈川県	高2	総合的な探究の時間	修学旅行事前学習と被爆者講和	修学旅行の事前学習として、戦争の恐ろしさと平和の大切さをテーマとした映画を視聴した。映画は、生徒と同世代の戦争孤児となった少年と幼い妹が懸命に生きようとする姿を描く。アニメーションであるが、生徒たちは戦争の悲惨さについて知り「戦争は絶対にしてはならない」という感想が目立った。また、修学旅行先では被爆者の方から原爆を体験した当時の様子を直接聞き、原爆の恐ろしさやいのちの大切さについて深く考える機会となった。	映画「火垂るの墓」と被爆者講話

20	神奈川県	高1	総合的な探究の時間	命の大切さを学ぶ	犯罪やいじめの被害に遭われた方々の思いを知り、命の大切さについて深く考える機会を持った。実際の事件を題材にしたDVDも上映してもらい、被害者や残された遺族の心情などを通じて、「いじめ」や「犯罪」について、考える内容であった。また、自分の命も大切にすることが大事であること、いじめ・犯罪を目撃などしたら勇気を持って、大人に連絡することなど、具体的な対応の仕方を学ぶことができた。	かながわ被害者支援センター講師 2名 警察署の方 2名
21	神奈川県	高1	総合的な探究の時間	「自分を好きになりたいと悩んでいる人へ」	ご自身の様々な困難や苦労の実体験を惜しみなく、しかも明るく話されるので生徒たちもリラックスでき、話にぐいぐいと引き込まれ、気持ちが軽く楽になったと心を開いていた。普段の生活の中で無理をして期待に応えようと頑張っている生徒の心がアンケートで見えてきた。「自分が幸せになるような選択をする・自分を大切にしていける」「我慢しなくていい」「好きなことをやっていい」など、自分を大切にすることがコミュニケーションやコンプレックスとの向き合い方、自信のつけ方等について話された。講師のメッセージは「大人（教員）に向けられたメッセージ」だと感じた。大人が無意識のうちに「～であるべき」と固定観念に縛られていないか。多くの大人にこそこの話を聞いてもらいたい。	講師は元男性で、性別適合手術を受け戸籍上女性となり、結婚してコミュニケーション講師として活躍されている。
22	神奈川県	高2	総合的な探究の時間	SDGs	SDGs17のテーマについての探究活動、及びプレゼンテーションを通して、貧困、飢餓、健康と福祉など地球上の様々ないのちに関わる内容について目を向けるなかで、いのちの尊さについて深く知り、自己の学習だけでなく、他者の発表を聞くことによって、学びを深めることができた。探究発表会では2年生のプレゼンテーションを1年生も参加して、命の大切さを学ぶとともに探究意欲を高めることができた。	SDGs17のテーマについてグループで自らの研究内容を定め、探究活動を進めてその成果をポスターセッション形式のプレゼンテーションを行った。
23	神奈川県	高1	総合的な探究の時間	福祉体験 防災教育 人権教育	福祉教養コースで培ったノウハウと施設や設備を活用して、1学年職員全員で指導にあたった。福祉体験は「手話入門」「白杖体験」「インスタントシニア体験」「車椅子体験」「ボッチャ体験」「パラ競技体験」の6講座、防災教育は「DIG」「震災教育」の2講座、特別講座として「人権」1講座を開講し、全体の取組を通して生徒の人権感覚を養った。どの講座も生徒が楽しみながら実習に取り組んでおり、人への思いやり、互いに支え合って生きることの大切さなどを真剣に考えさせることができた。	指導にあたる教員は、夏季休業中に実施された校内福祉研修をもとに準備を進めた。また、生徒を数名ごとのグループに分け、各講座の学習内容をもとにスライドを利用した研究発表を実施し、知識や技能の定着を図れるように心がけた。
24	神奈川県	高1	総合的な探究の時間	本校周辺と自分の居住地周辺のハザードマップを調べる。	ICTを活用し、本校周辺のハザードマップを閲覧し、登下校時などの安全策を考えさせる。また、生徒の自宅周辺のハザードマップを閲覧し、有事の際に自分のいのちを守るための行動計画を立てる。	
25	神奈川県	高2	総合的な探究の時間	防災	講師によるパワーポイントにより、被災地での救援活動について体育館に集合し講義を受けた。実際の体験談を語っていただき、動画や資料をもとに、防災における課題について考察することができた。実体験からの話や動画などで視覚的に捉えることで、よりいのちを守ることへの意識が高まった。	相日防災株式会社

26	神奈川県	高1	総合的な探究の時間	未病	<p>地域住民の健康管理を行う医師の講話を通じ、神奈川県が推奨する「未病」への理解を深めた。</p> <p>診断対象者の大半が高齢者である山北町の現状や、地域住民の健康維持のための医療活動の様子を教えていただいた。特に予防医学の重要性を強調され、若年層から実践可能な未病対策について示唆していただいた。</p> <p>ウェルビーイングについての考えを深め、より広く生きることへの関心が高まった。</p>	山北町山北診療所所長
27	神奈川県	高1	総合的な探究の時間	スケアードストレイト交通安全教室	<p>通学時だけでなく日常的に自転車を利用している本校生徒の交通事故防止という目的で、相模原市緑区役所、津久井警察署の協力を得てスケアードストレイト交通安全教室をおこなった。実際の交通事故を目の前で見て感じることで、日ごろの自分の自転車操作を振り返って、日々の交通安全への意識付けを図った。</p>	相模原市緑区役所地域振興課 津久井警察交通課
28	神奈川県	高複合	総合的な探究の時間	平和学習	<p>1年生は「夏服の乙女たち」広島県立第一高等女学校の生徒たちが残した日記をもとに残された遺族の悲しみを描いたアニメーション。</p> <p>2年生は「沖縄 よみがえる戦場」読谷村民の戦争体験の証言をもとに地上戦の苛酷な実態を描いたもの。</p> <p>3年生は「ヒロシマに一番電車が走った」原爆によってすべてを破壊された広島の人々を描いたもの。</p> <p>4年生は「本土空襲全記録」アメリカ側、日本側の記録や報告書をデータ化して、本土空襲の全体像に迫ったもの。</p> <p>いずれも生徒が真剣に視聴し、自分事には考えられないものの、戦争の悲惨さを感じることができた。</p>	NHK特集、NHKスペシャルのDVDを用いて、第2次世界大戦時をひもとき、平和を希求する気持ちの醸成につながった。